

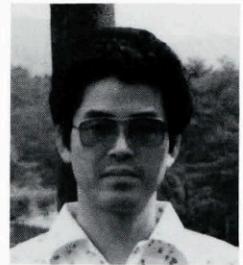


わたしのまちづくり

シリーズ 23

藤井慎一郎さん

(下東方)



阿部 太さん

(野波瀬)

もっと子供を！！

最近、この三隅の人口も年々減ってきていますが、その中でも特に子供の人数が……と思いませんか。僕にも2人の子供がいますが、近所に同じ年代の子供が少ない事です。理由の一つには長門、大津管内にこれといった職場がないこと、それによって県外などに就職をして、結婚などをして帰ってこないのだと思います。僕も7年前まで県外で働いていましたが、幸い家の仕事を手伝う事になり、この三隅に帰ってきたのですが、生まれ育ったこの三隅町に帰って来たいと思っている人は多数いると思いますが、その町民の悩みをどうにかならないものかな……と思います。

それと、子供の数が減っているのも子供達が安心して遊べる場所、たとえば公園などが無いからではないでしょうか。噂では、新しい町のグラウンドを作る計画があると聞いていますが、その中で幼児からお年寄りまで幅広く使え、楽しくレクリエーションができる様に計画を進めてもらいたいものです。

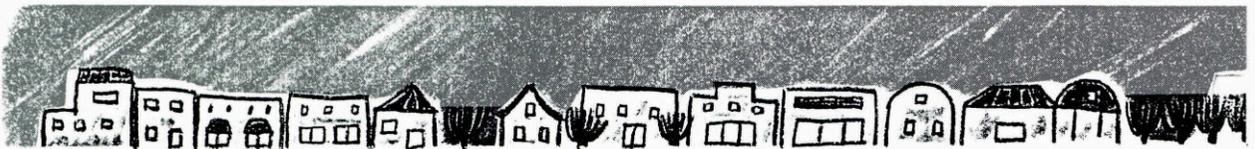
わたしのまちづくり

21世紀を目前に控え、最近テレビ、マスコミでも特に環境問題ゴミ問題がクローズアップされてきました。

私達はまさに、一人ひとりが地球環境問題とのかかわりを真剣に問い直さなければならない時代に、直面してると言えます。私達の生活が発展便利になる為、様々な生活必需品を作り、暮しやすさを追求してきましたが、反面公害騒音廃棄物を生み出し、環境問題が大きく私達にかぶさってきました。

我々三隅町民が、いや地球市民の一人として地域発展、地域環境をもっと考え、身近に家庭で出来るエコロジー活動、環境問題を親から子へ、家庭から職場へと意識の輪を広げ、地域ぐるみで環境美化運動をもっと進めて、美しい自然の残る住み良い三隅町になるように、また高齢化社会を向かえ“お年寄りにやさしい暮らしやすい環境を”と思っています。

子供の頃に歌った唱歌「ふるさと」の様な環境にと願っています。



新刊図書紹介

トレセン図書室より

(子ども向き)

「歴史人物なぜなぜ事典

全二十五巻」

卑弥呼から志賀潔まで八十

一名 閑ぎようせい

「文芸まんがシリーズ」

●坊っちゃん 夏目漱石

●山椒大夫／高瀬舟

●たけくらべ 森 鷗外

●怪談 樋口一葉

●一房の葡萄 小泉八雲

カインの末裔 有島武郎

●田舎教師 田山花袋

●性に目覚める頃 室生犀星

●地獄変／奉教人の死 芥川龍之介

●しろばんば 井上 靖

●野菊の墓 伊藤左千夫

●走れメロス／富嶽百景 太宰 治

●銀河鉄道の夜 宮沢賢治

●小さな王国 谷崎潤一郎

●風の中の子供 坪田譲治

閑ぎようせい

(成人向)

「NHK 国宝への旅

全二十巻・別巻一」

NHK取材班

日本放送出版協会